

| | | | |
|-------|-------------------------|--------|-----------|
| 事業名 | 平成21年度地域情報通信基盤整備推進交付金事業 | | |
| 事業完了日 | 平成23年3月31日 | 整備対象地域 | 苓北町の全域 |
| 総事業費 | 938,992千円 | 交付金額 | 294,535千円 |

事業の内容

[概要]

苓北町全域において、FTTH方式の伝送路を整備し、高速インターネット接続サービスの提供、地上デジタル放送の再送信による難視聴解消、全世帯へのIP告知放送端末の設置による行政防災情報の提供ができる環境を整備する。

[目的]

熊本県天草郡苓北町にFTTH方式の情報通信網を整備することで、高速インターネット接続サービスの提供、地上デジタル放送の再送信による難視聴解消により、地域間の情報格差の是正と地域の活性化を図る。また、公共施設への行政情報・防災情報の提供及び地域の全世帯へIP告知放送による行政防災情報の提供により、当該地域一本化を促進する。さらに、携帯電話の基地局の開設に必要な伝送路施設を整備して、携帯電話を利用可能とすることにより、地域間の情報格差を是正するとともに、地域住民の生活利便性の向上及び地域経済の活性化を図る。また、携帯電話エリアの整備により、事故等の不測の事態における緊急連絡手段を確保し、地域の安全・安心を確保する。

| サービス種類 | BB(ブロードバンド) | | | | CATV(ケーブルテレビ) | | | |
|----------|----------------|---------------|--------------|---------------|---------------|---------------|--------------|---------------|
| サービス開始日 | 平成23年4月1日 | | | | 平成23年4月1日 | | | |
| サービス形態 | 公設民営(IRU) | | | | 自営 | | | |
| 契約先 | 九州通信ネットワーク株式会社 | | | | - | | | |
| 目標及び実績 | 初年度 (目標) | H23年度 (実績) | 最終年度 (目標) | H27年度 (実績) | 初年度 (目標) | H23年度 (実績) | 最終年度 (目標) | H27年度 (実績) |
| 整備地域の世帯数 | 3,108 | 3,179 | 3,108 | 3,212 | 650 | 689 | 650 | 746 |
| 加入世帯数 | 466 | 750 | 560 | 1,011 | 650 | 689 | 650 | 746 |
| 加入率 | 15.0% | 23.6% | 18.0% | 31.5% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |

これまでの加入促進の取り組み

[インターネットサービス相談]

平成23年4月苓北町役場のロビーや町内ショッピングセンターにおいて、インターネットサービス相談会を開催した。その後も、転入者を中心に相談受付を行い、サービスの説明を行った。

平成26年11月電気のふるさと苓北町産業文化祭で相談ブースを設け、インターネットの相談を受け付けた。

[新料金プランの周知]

平成25年1月町広報誌において、契約年数によって月額利用料金が安くなるインターネットの新料金プランを周知し加入促進を図った。

[IP告知端末放送の周知]

平成27年5月町広報誌において、IP告知端末の周知に加えてIP告知端末の付属サービスである町内無料電話の利用促進について周知した。

平成27年6月町広報誌において、6.11に発生した大雨災害の広報に併せて警報や避難指示等の情報源であるIP告知端末の重要性を掲載した。

[NECネット安全教室]

平成25年8月苓北町立志岐小学校において、町内の小学5・6年生及び保護者を対象にインターネットの安全性を学ぶインターネット教室を開催した(受講者数23名)。

[タブレット教室]

平成27年8月苓北町町民総合センターにおいて、親子連れやシニア層を対象にタブレットを使用したネット検索やSNSの活用方法、また個人情報セキュリティを学ぶ教室を開催した(受講者数10名)。

事業の効果

・IP告知端末の設置により防災情報の提供が迅速になった。

・町内どこの地区でも地上デジタル放送を安定して視聴できるようになった。

・インターネットを使った教育指導が可能になったことにより、町内のICT教育を前進させることができ、学習意欲の向上に繋がった。

評価及び課題

整備計画では、事業全体のサービス開始から5年後の平成28年3月時点で光インターネット加入世帯数を560世帯、また、地上デジタル放送の難視聴地域の650世帯を解消することを目標とし事業の推進を行った。

インターネット利用者数は、目標最終年である平成28年3月末日時点で、1,011世帯と目標の1.8倍を達成し、インターネットの普及促進に一定の成果を上げることができた。また、地上デジタル放送の難視聴世帯への対応については、地上デジタル放送の再送信事業(以下:苓北町CATV事業)によって746世帯を解消できたことに加えて、現在は、難視聴以外の世帯でも強風対策の一環として苓北町CATV事業に加入される方が増加しており、今後は苓北町が掲げる「安心して住めるれいほく」「いきいきと暮らせるれいほく」「ふるさとと呼べるれいほく」の3つの基本理念にそった形で、施設・機器・環境をフル活用し、住民サービスの向上を図って行く。

今後の課題として、整備初期から5年が経過しているためセンター機器の更新や経年劣化による関連機器の修繕が必要となってくる。本事業で光ケーブルを町内全域に整備することができたが、これから耐用年数をむかえた光ケーブル等を交換する年度には集中して大きな費用がかかるため、年度毎に機器の交換を行う地域の設定や対象物件を整理し、交付金や補助金等が活用できないかを国や熊本県等とも協議を行い、費用を分散・最小化できるような細かな計画を苓北町振興計画に盛り込んで対応する。